

田代山～帝釈山

M・T

期 日：9月17日（火） 晴れ

コース：猿倉登山口9：52→小田代11：35→田代山山頂12：21→田代山避難小屋12：44～13：09→帝釈山山頂15：05→馬坂峠15：57

参加者：M・T

報 告：



まずは、猿倉登山口から2キロ先の田代山に向う。オサバグサシーズンの6月は混雑する山だが、季節外れのこの日は二人しか会わなかった。

オクラ沢を渡った所から本格的な登山道に入る。



急登の樹林帯の中をもくもくと歩く。



白樺の幼木が多く綺麗な林だが、傾斜の強い登りが小田代迄続く。

オサバグサも今は葉のみ。



花の時期には沢山の登山者が、白く小さく可憐な花を愛でに訪れる。



山頂まで1キロ地点。まだ、白樺の樹林の中。500m毎に標識があったが、これだけ歩いてもたった500mしか進んでいないと、がっかりする。樹林が切れたところから燧ヶ岳遠望。ここから直ぐに湿地に着いた。



小田代湿地の草紅葉は、始まりかけている。



誰も居ない静かな高層湿原。秋の花リンドウを楽しみにしていたが花の色は全くない。咲き終わったのか？ 途中で枯れたのか？ 全て茶色のこの状態。



キンコウカも草紅葉！



田代山に向かう木道



ツルリンドウの実



この日この一輪しか見つけられなかったリンドウ



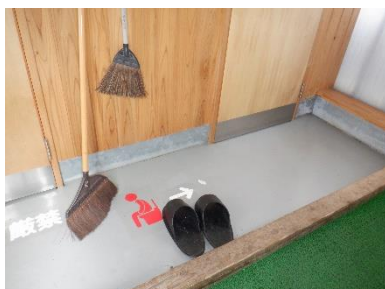
湿原の花を探しながら田代山山頂。
山頂と言っても1926mの高層湿原の中。

25分程歩いて田代山避難小屋に着く



神棚が有る小屋内。不思議な気がする。

以前覗いた時は、畳敷きでは無かった気がする。



登山靴のまま利用できる様に大きなサンダルが置いてある。
清潔で利用しやすい。お世話になった時はしっかりお掃除して帰ります！
小屋前には沢山ベンチが有りゆっくり昼食を摂り山頂での時間を楽しんだ。



帝釈山 2060mに向います。
白樺の2次林と思われる登山道は優しい雰囲気漂う。



シラビソのぬかるんだ道



短い梯子を5回越えて帝釈山に近づく



やっと着いた帝釈山。自撮り失敗！



馬坂峠へ向かう道は階段が設置されている場所が多く壊れている箇所も多い。





馬坂峠着。

立派なトイレが設置されている。



向かい側は台倉高山の登山口。この山は馬坂峠からのピストンしか登山道は無い。

